

令和元年度事業報告書

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの強化を図りながら、県民、企業等からの寄附金の拡充に努めるとともに緑地保全や県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業について次のとおり取り組んだ。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、小網代の森でのアカテガニ放仔観察会や自然観察会の実施等を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発を行うとともにみどりのトラスト会員の募集に取り組んだ。
- 地域緑化活動事業では、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の育成に努めた。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットでは、応募の中から選定した各スポットのPR事業としてフォトラリーの実施に取り組んだ。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続や拡大に努め、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成、保存契約緑地等の維持管理及びトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、森林インストラクターの養成、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、日本ボーイスカウト神奈川連盟の70周年記念イベントで緑の募金活動を行うとともに、直接事業として森林保全活動や緑化運動・育樹運動コンクール等の実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し、県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために各種イベントでのPR、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

(ア) 講演会等でのPR活動

開催日 令和元年10月20日(日)

場 所 県立城ヶ島公園

内 容 三崎港の夕日と音楽2019 Sunset Crimson

(イ) パネル展示等

開催日 令和元年6月4日(火)～14日(金)ほか

場 所 海老名市役所ほか

内 容 令和元年度えびな環境フェスティバル、京急エコウィーク(どんぐりクラフト)、第19回さがみ自然フォーラムに出展、長久保公園にパネル貸出

イ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
113(夏)	元年 6月	11,000部	ボランティアウォークで小網代の森入門、スズメバチの暮らしと生態系など
114(秋)	元年 9月	11,000部	箱根仙石原湿原、神奈川のシダ植物、かながわ生きもの調査など
115(冬)	元年12月	11,000部	“森は海の恋人”前編、保全対象緑地の選定基準の見直しなど
116(春)	2年 3月	11,000部	子どもたちの自由研究、“森は海の恋人”後編、中川の箒杉を訪ねてなど

⑨ ウ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

(ア) 出展内容

期 間 令和元年6月9日(日)～令和2年3月3日(火)

場 所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内 容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示及び学習図書の提供

(イ) オープニング記念イベント

開催日 令和元年10月26日(土)

内 容 「森は海の恋人 小網代の森と海の教室～森川海の講演会～」

参加者 85名

エ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

リーフレット等の啓発用物品を作成し、市民団体、企業及びイベント等で配布した。

(ア) 入会申込書付きリーフレット 25,000部

(イ) 小網代の森リーフレット 16,000部

(ウ) かながわトラストみどり基金リーフレット 5,100部

(エ) かながわトラストみどり基金チラシ(かながわキンタロウ☆ブックキフ) 8,000部

(オ) 新聞折込チラシ 500,000部

オ WEBサイト等の充実

公式WEBサイトやSNS(facebook、Twitter)で会員募集や寄附の情報発信及びWEBサイトのリニューアル整備に取り組んだ。

カ 自然観察会等の開催

(ア) 森林探訪(NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催)

開催日 平成31年4月21日(日)ほか1回

場 所 陣馬山ほか

参加者 78名

内 容 植物、樹木の観察

(イ) 自然観察会等

開催日 平成31年4月20日(土)ほか10回

場 所 久田緑地ほか

- 参加者 281名
 内容 街路樹、植物、野鳥などの観察
- (ウ) トラスト緑地周遊クルーズ
 開催日 令和元年5月17日(金)
 場所 小網代湾から大崎緑地
 参加者 21名
 内容 ヨットに乗船して三浦半島のトラスト緑地を巡る
- キ 小網代の森観察会の開催
 (ア) ホタルの見頃に夕方観察会等
 開催日 令和元年5月25日(土)ほか2回
 場所 引橋入口からエノキテラス
 参加者 73名
 内容 緑地内での自然観察
- (イ) アカテガニ放仔観察会等
 開催日 令和元年8月1日(木)ほか2回
 場所 引橋入口からアカテガニ広場
 参加者 79名
 内容 緑地内での自然観察、アカテガニ放仔等の観察
- ク 関係団体と自然観察会等の共催及び普及啓発に係る事業の委託等
 (ア) 関係団体との共催等
 NPO法人かながわ森林インストラクターの会、一般社団法人日本海洋アカデミーと自然観察会等を共催した。
- (イ) 委託事業の実施
 NPO法人小網代野外活動調整会議に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。
- (ウ) 会員優待施設の拡大
 丸太の森、万葉うどん、かっぱ天国、甘酒茶屋、野菜のHikarieから優待施設の協力を得た。(全38施設)
- ケ 顧客管理システムの管理
 会員、寄付者及びイベント参加者等の情報管理の効率化やセキュリティーの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。
- コ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用
 財団の事業運営を支援するサポーターを登録し自然観察会及び郵送事務等の協力を得た。
 登録人数 73名
 活用回数 トラスト会員更新依頼等発送業務(5月16日実施)ほか8回
- サ 会員数 []は内、トラスト緑地保全支援会員数
 ・新規会員514人(目標500人)

会員種別		平成29年度	平成30年度	令和元年度
普通会	個人会員	3,909名 〔395名〕	3,739名 〔396名〕	3,672名 〔405名〕
	家族会員	6,789名 〔636名〕	6,557名 〔669名〕	6,267名 〔683名〕

会員種別	平成29年度	平成30年度	令和元年度
法人・団体会員	261名 [25名]	267名 [25名]	271名 [26名]
特別会員	315名	313名	310名
名誉会員	5名	5名	5名
会員数	11,279名 [1,056名]	10,881名 [1,090名]	10,525名 [1,114名]
(内、過去1年間に会費 の納入があった会員数)	(9,393名) (85.7%)	(9,162名) (86.7%)	(8,853名) (87.1%)

※ 会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されております。

(2) 緑化協力金制度の運営

27箇所の協力駐車場のうち当財団ではかながわ労働プラザや小中沢（宮ヶ瀬ダム）など22箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

なお、県立城ヶ島公園ほか4箇所の緑化協力金の看板の撤去や改修等の費用を負担した。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動を支援及び研修会等を開催した。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットを応募の中から選定し、その活用として「フォトラリー」を実施した。

(1) みどりの実践団体の育成

- ・財団事業に参加した団体数223団体（目標190団体）

地域におけるみどりの愛護と創造を实践する団体に対し奨励金及び地域緑化活動助成金を交付した。

初年度奨励金1団体、2年度奨励金1団体

地域緑化活動事業助成金 50団体

また、横浜地区、川崎地区、相模原地区、三浦半島地区、県央地区、湘南地区、県西地区を3組に分けて、合同で研修・交流会を開催し、地域を越えた交流及び育成に努めた。

ア 湘南地区・県西地区

研修・交流会

開催日 令和元年10月29日（火）

場 所 三浦市民交流センターほか（雨天のため、コースを一部変更）

参加者 42名

イ 相模原地区・県央地区

研修・交流会

開催日 令和元年11月5日（火）

場 所 三浦市民交流センター、小網代の森ほか

参加者 43名

ウ 横浜地区・川崎地区・三浦半島地区

研修・交流会

開催日 令和元年11月7日（木）

場 所 三浦市民交流センター、小網代の森ほか
 参加者 46名

(2) 地域活動の育成

県民参加による緑化推進、かながわナショナル・トラスト運動の普及啓発、会員の拡大等を推進するため講演会を開催した。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットの応募の中から現地調査等を踏まえ、選考委員会において全36箇所を選定し、各スポットの活用としてフォトラリーの実施及び広報に努めた。

ア 湘南グリーンコネクション2019

開催日 令和元年11月17日(日)
 会 場 平塚市中央公民館「小ホール」
 参加者 68名

イ かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットの選定及びフォトラリーの実施

選 定 パワースポット10箇所、癒やしスポット26箇所
 活 用 フォトラリーの実施(3箇所以上撮影後申込)
 申込期間 令和元年11月1日から令和2年8月31日まで
 周 知 パンフレット設置、機関誌ミドリ、財団WEBなど

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに市町村の緑地等指定事業への助成を行った。

また、緑地で活動する市民団体への支援、蟹田沢緑地の保全及び保全緑地等選定委員会等を開催した。

(1) 緑地保存契約

5箇所の緑地について緑地所有者と保存契約を継続し、新たに久田緑地において816㎡(目標500㎡)の保存契約を締結した。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B)/(A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	152,784.95	77,022.84	56,425.84	73.3	10	2,922,352
久田緑地 (大和市)	98,239.00	79,505.00	72,793.00	91.6	10	5,241,096
泉の森緑地 (大和市)	79,454.31	39,528.46	27,597.38	69.8	10	3,513,754
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	34,343.70	17,544.70	51.1	10	1,438,665
小網代の森緑地 (三浦市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
5緑地 計	975,914.96	334,407.00	278,367.92	83.2	—	13,149,398

(2) 保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)及び小網代の森緑地(三浦市)の自然環境の保全のため、樹木の管理、土留柵の設置及び看板整備等の適正な管理に努めた。

(3) 市町村の緑地等指定事業への助成

市が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町村	緑地等指定面積	実績額	助成金交付額	助成率
横浜市他 11 市	688,931.25m ²	57,632,299円	17,716,000円	30.74%

(4) 緑地保全コーディネート

ア 保全緑地等選定委員会

保全すべき緑地や歴史的遺産等の選定基準及び緑地の保全に関する事項等を審議した。

開催日 令和元年9月5日(木)

会場 かながわ県民センター

イ 小網代の森保全利活用対策協議会

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。

開催日 令和元年7月25日(木)

会場 三浦市民交流センター

ウ トラスト緑地の保全支援

三つのモデル緑地において、自主的に保全活動にあたる3団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動費を助成した。また、ヤマユリの自生地再生を目的に「かなユリ・チャレンジ」を推進した。

・小網代の森緑地(NPO法人小網代野外活動調整会議)

水棲生物の調査などモニタリングを継続して実施し、大規模な湿地環境再生事業、外来植物除去作業の実施及びアカテガニ放仔観察会の支援に取り組んだ。

・久田緑地(久田緑地くらぶ)

竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動に取り組んだ。

・桜ヶ丘緑地(桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト)

水辺の環境の維持管理作業を地元小学校と取り組むなど、地域連携による環境保全活動に取り組んだ。

・かながわトラスト緑地・ヤマユリ自生地再生チャレンジ(社会福祉法人進和学園)

緑地で採取した種子等を育成し、自生地の緑地に植樹するための活動に取り組んだ。

エ 蟹田(ガンダ)沢の保全

京浜急行電鉄株が所有する蟹田沢緑地(小網代の森隣接地)の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供やボランティア団体の活動発表会の実施、小・中・高校生への森林体験学習等の支援、企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣、用具の貸し出しを行った。

- ・ボランティア参加者数 9,171人(目標10,500人)

ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

回数 16回

活動内容 植栽、下刈、枝打、間伐、除伐、竹林整備

- 参加者 788人
- イ 団体の活動発表会
回数 1回
場所 小田原市いこいの森体験交流センター
参加者 42人（アを含む）
- ウ 小・中・高校生の森林学習等支援
学校数 24校
活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験
参加者 2,262人
- エ 団体等への指導者の派遣
回数 76回
活動内容 自然観察、間伐、植樹、竹林整備等
参加者 3,954人
- オ 団体等への用具の貸出
回数 81回
活動内容 森林作業体験等
参加者 4,518人（うち2,351人はウとエを含む）

(2) 森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発や、ボランティア活動等の円滑な推進を図るための森林インストラクターを育成し、ボランティア活動に対する森林インストラクター派遣の調整を委託した。

ア 森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

回数 125回

派遣人数 876人

イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

神奈川県森林インストラクターを対象に指導者としての資質向上を図るため、熱中症対策、森林の土壌・地質、安全な間伐作業等に関する研修を実施した。

研修回数 3回 参加者 124人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成

子ども達の森林体験学習や県民の森林づくり活動の多様化等に対応した指導者を養成するため、第16期神奈川県森林インストラクター養成講座（二年次）を開講した。

講座日数 10日（開講期間：令和元年5月～11月） 受講者 33名

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数：20,000部 配布先：既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に

「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行っている。

配置場所：やどりき水源林（松田町寄）

配置人員：延べ222人

ウ 成長の森の造成

赤ちゃんが誕生した家族から神奈川県産無花粉スギの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行い、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄付 116家族 173人

エ 街頭キャンペーン

県民の参加と協働を一層高め、水源環境保全再生への取り組みを促進するため、森林に親しむ機会の少ない都市部の県民に向け、水を育む森林の大切さ等について普及啓発活動を行った。

開催日 令和元年5月5日（日）～11月4日（月）（延べ7日）

場 所 相模原麻溝公園（クレマチスフェア会場）ほか2箇所

参加者 1,317人（クイズ用紙配付人数）

内 容 水源林紙芝居、クイズ、水源涵養の実験、丸太切り体験コーナー、木工教室、リーフレットの配布、募金活動

オ 水源林のつどいの開催等

県、森林関係団体等で構成する「県民との協働による森林づくり実行委員会」の事務局として水源林のつどい及び新定着型ボランティア事業を実施した。

(ア) 水源林のつどい

開催日 令和元年8月3日(土)

場 所 やどりき水源林（松田町寄）

参加者 257人

内 容 水源林トレッキング、水生生物観察、森林癒やし、森林交流会等

(イ) 新定着型ボランティア事業

場 所 やどりき水源林ほか3箇所

団体数 5団体

内 容 県管理の水源林の一定エリアについて、自主的に森林づくり活動を行う団体に対し支援を行った。

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第16回緑の募金運営協議会

開催日 令和元年5月22日（水）

場 所 波止場会館

主な議案 平成30年度事業報告及び収支決算

(イ) 第17回緑の募金運営協議会

開催日 令和2年3月5日（木）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和2年度緑の募金実施要領及び令和2年度事業計画、収支予算

イ 募金活動

学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

(目標 21, 100, 000円)

募金種別	平成30年度	令和元年度
緑の羽根募金	13,912,688 円	14,406,333 円
緑化グッズ募金	6,904,000 円	6,794,096 円
計	20,816,688 円	21,200,429 円

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む7校を指定し、学校緑化を実施した。

公立学校の部 (7校)

小学校 相模原市立田名北小学校ほか2校

中学校 川崎市立西中原中学校ほか2校

高等学校 県立座間総合高等学校

私立学校の部 (該当なし)

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 川崎市四谷下町公園ほか2箇所 205本

(イ) 苗木配布 三浦市初声市民センターほか3箇所 427本

(ウ) 資材購入 NPO法人かながわ森林インストラクターの会ほか チェンソー等

(エ) 森林整備等 綾瀬市落合南「キツツキの森」 危険木伐採等

エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による大山北尾根周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」(構成員:神奈川県、秦野市、清川村、当財団等)に支援した。

オ 森林づくり体験(保全活動)

県立21世紀の森、箱根の小塚山(トラスト緑地)において広く県民を募集し、森林整備活動を実施した。

実施日 令和元年6月8日(土)ほか1回

場 所 南足柄市内山ほか

内 容 下刈など

参加者 76人

カ ジュニアフォレスター教室

次世代を担う子どもたちを対象に自然観察などを通して森林づくりの関心を高めた。

開催日 令和元年10月19日(土)

場 所 県立秦野戸川公園

参加者 30人

(3) 緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催

開催日 令和元年8月24日(土)～25日(日)

場所 小田原市いこいの森キャンプ場ほか

参加者 31人

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和元年5月11日(土)

場所 あつぎ市民交流プラザ

参加者 4人

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 令和元年12月14日(土)

イ 会場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等(上位入賞作品は(公社)国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品)

(ア) ポスター原画コンクール(応募点数 285点、入賞点数 29点)

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		123	105	57	285
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	2	1	1	4
	銀賞	3	2	1	6
	銅賞	3	3	1	7
	佳作	3	3	3	9
	合計	12	10	7	29

(イ) 標語コンクール(応募点数 393点、入賞点数 41点)

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		158	177	7	51	393
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	1	3
	金賞	3	3	0	1	7
	銀賞	3	4	0	1	8
	銅賞	5	5	0	1	11
	佳作	4	6	1	1	12
	合計	16	19	1	5	41

(ウ) 学校関係緑化コンクール(応募団体 1団体)

エ 令和2年用国土緑化運動・育樹運動コンクール(主催(公社)国土緑化推進機構)

(ア) ポスター原画コンクール

国土緑化推進機構理事長賞(入選) 3人

- (イ) 標語コンクール
入選 1人
- (5) 緑の祭典への参画
次回開催（令和2年）に向けて県民参加の森林づくり実行委員会の事務局として候補地の調整を行った。
- (6) いきいきみどり基金による支援
竹林整備等支援事業
森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸し出しを行った。
登録団体 11団体
貸出団体 7団体（延べ13回）
- (7) 協力等事業
ア（公社）国土緑化推進機構関係
（公社）国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。
（ア）企業の森づくり体験活動事業
企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。
（イ）公募事業（緑の募金、緑と水のファンド）
国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。
（緑の募金公募） 採択 2団体
（緑と水の森林ファンド公募）採択 該当なし
（ウ）学校環境緑化モデル事業
学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。
申請 2校、採択 2校（秦野市立東小学校ほか1校）
（エ）緑の募金推進体制整備交付金
「緑の募金」の推進体制の整備、普及啓発・広報及び募金活動への取り組み強化するための支援を受けた。
- イ（公社）ゴルフ緑化促進会関係
（公社）ゴルフ緑化促進会からの協力金により公共施設等の緑化を実施した。
応募 1団体、採択 1団体（相模原市）

Ⅲ 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

1 理事会

- (1) 第15回定時理事会
開催日 令和元年6月6日（木）
場 所 横浜情報文化センター
主な議案 平成30年度事業報告及び収支決算等
- (2) 第16回定時理事会
開催日 令和2年3月17日（火）
場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

主な議案 令和2年度事業計画及び収支予算等

2 評議員会

第8回定時評議会

開催日 令和元年6月24日（月）

場 所 横浜情報文化センター

主な議案 評議員、理事の選任並びに平成30年度収支決算等

3 緑の募金運営協議会

(1) 第16回緑の募金運営協議会〔再掲〕

開催日 令和元年5月22日（水）

場 所 波止場会館

(2) 第17回緑の募金運営協議会〔再掲〕

開催日 令和2年3月5日（木）

場 所 神奈川県横浜西合同庁舎

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成していません。

令和2年6月

公益財団法人かながわトラストみどり財団